

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	田辺市立新庄中学校	榎澤満芳
学校所在地		
(〒 6 4 6 - 0 0 1 1) 和歌山県田辺市新庄町 2 2 6 6 - 2 tel (0 7 3 9) 2 2 - 1 6 4 3 fax (0 7 3 9) 2 2 - 4 6 7 2		
担当者名		役職名・担当教科
吉田円		教諭・国語
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
3 年生 3 9 名	職員 3 名	
実践研究テーマ		
世界遺産「熊野古道」を未来へつなぐ		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	未来学 「2030年の新庄・田辺・日本・世界を『だれにとってもウェルビーイングな社会』にする」	
〔キーワード〕 S D G s 未来につなぐ 世界遺産		
〔単元目標〕 ・ 田辺市の歴史、文化を調べ、実際にその地を歩き、体験することを通して、「熊野古道」の素晴らしさを感じ、未来につなげようとする。 ・ 必要とする情報を適切な方法で集め、集めた情報を取捨選択しながら整理し、目的に応じた資料を作成する。 ・		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 2 5 時間 （「 新庄未来学 」 1 1 時間（現地学習 6 時間含む） ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕 世界遺産協議会事務局「次世代育成事業」（世界遺産入門、現地学習等）		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	新庄未来学の取組の概要（目的と最上位目標）を知る。	①新庄未来学について知る。 ②SDGsを通して世界の課題を考えたことや今までの経験を踏まえて意見を出す。	学びに向かう力…観察
2	熊野古道事前学習	世界遺産センターの方から世界遺産の入門講座をしてもらう。	観察
3	熊野古道現地学習 田辺市の文化の素晴らしさを知り、大切に守り、伝えていこうとする心情を育てるため、現地学習をし、歴史や自然を体感する。	和歌山県世界遺産センターを訪ね、世界遺産について学習すると共に、熊野古道を歩く。	観察 ワークシート
4	・熊野古道を次世代につなぐための活動計画を立てる。 ・計画した取組を実践するために、情報収集し、情報整理する。	世界遺産と未来学のつながりについて考える。	観察 ワークシート
5	・実践した取組を、表現する場所を自分たちで探し、依頼する。		観察 ワークシート
〔単元学習の成果と課題〕			
成果 「新庄未来学」を通して、自分たちが生活する地にある世界遺産「熊野古道」に目をむけることができた。今までなんとなく知っている熊野古道を、現地学習によって、自分の足で歩き体感することで、1000年も守ってきた歴史、文化、自然を身近に感じ、未来につないでいきたいと考えることができた。さらに、熊野古道を実際に歩く人、そして護っていく人を増やすため、自分たちに何ができるかを考え、実践につなげることができた。ポスターを作成し、新庄中学校の1、2年生の教室で説明、ポスター掲示を実施した。さらに、新庄小学校、新庄第二小学校、グルメシティー、白浜役場、たなべるに掲示。これらの活動を11月17日の文化発表会で報告をした。			
〔世界遺産学習の効果〕			
当然、「熊野古道」については知っていたが、現地学習をすることによって、自分の足で歩き体感することで、1000年も守ってきた歴史、文化、自然を身近に感じ、未来につないでいきたいと考えることができた。			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
先人たちの歩みによってできた世界遺産への畏敬の念、そして、それらを護ってきた先人たちの思いを、もっと多くの子どもたちに体験させ、自分たちが未来の担い手であるという気持ちを養うことが必要である。			